

産業能率大学 情報マネジメント学部

現代社会と経済	履修年次	1	
	単位	2	
石塚 浩美	配当期	前・後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>講義の内容は、①「経済学」という「道具」の基本を、「ミクロ経済学」・マクロ経済学・応用経済学に基づき、確認するのである。②日本経済全体を理解するため、基礎的な経済データ・「経済史」・「人口学」に基づき、歴史的推移や人口減少社会の現実等を学ぶ、③仕事・働き方・ダイバーシティ・労働市場を考えるうえで、「労働経済学」に基づき、現状を学ぶ、④経済政策などを、「財政学」(公共経済学)や「金融論」に基づき学ぶ、⑤国際経済として、産業革命・経済統合・GGGI・SDGs・日中韓比較等を学ぶ、である。本科目で身に付けた能力のある日本の大学生・将来はBusiness Personとして、問題意識・解決力が応用できるのである。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生として、意欲的に現代社会を「経済学」という「道具」(理論的枠組み)で捉えていく視点を獲得できる。 ・新聞などで、基本的な現代社会の経済記事に着目し、「経済学」という「道具」を用いて解説できる。 ・日本の若年人財として、日本を持続しつつ、今後活き活きと働いていくために必要な能力を理解して行動や就活に活用できる。 			
成績評価の方法			
出席状況と参画度、授業外学習、提出課題、等により総合評価する。なお、課題レポートの提出を修得の要件とする。			
週	授業項目	週	授業項目
1	・ガイダンス ・経済学とは何か	8	日本的雇用慣行の特徴: ・非正規就業の拡大と多様な働き方
2	経済情報の捉え方: 経済データの意味、推移(1945年～現在)	9	財政学(公共経済学): ・税制度と社会保障制度、・年収の壁、・生涯所得と負担・格差社会
3	人口減少社会と、ワークライフバランス	10	経済政策(1): 政府の財政政策
4	仕事を考える(1): 企業の側面	11	経済政策(2): 中央銀行の金融政策
5	仕事を考える(2): 就業者の側面、ジェンダー(男女別)でみる日本の働き方	12	若年層の働き方
6	経済学理論(1): ミクロ経済学	13	グローバル経済: ・第1次から第4次産業革命、・SDGs
7	経済学理論(2): マクロ経済学	14	日本・中国・韓国の3カ国の共通点・経済・社会・男女就業の比較